

周防大島町の話題



▲「どんな風な町になってほしい？」など、時折生徒に問いかけながら授業を進める藤本町長

周防大島中学校で出前授業

11月4日、周防大島中学校において、藤本町長が周防大島中学校2年生へ周防大島町についての授業を行いました。

これは、社会科の授業の一環として行われたもので、藤本町長は、町長や役場が行っている仕事や役割について具体的な例を出しながら説明するとともに、官約移民制度の時代から続くハワイ州と周防大島のつながりや環境問題などについて話をしました。

中学校生徒の主張発表大会

11月8日、第72回目となる大島郡中学校生徒の主張発表大会が橘総合センターにて開催されました。

これは、「社会を明るくする運動」の一環として大島保護区保護司会などが主催し開催したもので、6人の中学生が明るい社会をつくるためにできることなどについて発表を行いました。

発表者は、伝える言葉に気をつけ責任を持つこと、人と人とのつながりの大切さ、自分の見方を変えることで見えてくることや笑顔であいさつを交わせる社会など、自分の考えや体験から感じたことを主張。審査の結果、大島中学校3年の屋敷香凜さんが最優秀に選ばれました。



▲主張発表大会の様子（主張を行う屋敷香凜さん）



▲キックターゲットの様子

キックターゲットで日米交流

11月12日、周防大島町陸上競技場において、「日米子供キックターゲット」が行われました。

これは、在日米軍基地の家族と周辺住民との交流を目的に行われているイベントで、今年で7回目。今回実施されたキックターゲットには、町内のサッカースポーツ少年団、岩国市および岩国米軍基地の子どもたちが参加し、混成チームで的を落とした数を競いながらコミュニケーションをとっていました。

参加した日米の児童からは、「面白かった」「次にこのような機会があれば絶対に参加したい」などの感想がありました。